

## 平成22年6月期 第2四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カワニシホールディングス

コード番号 2689 URL <http://www.kawanishi-md.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野瀬 洋輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長

(氏名) 高井 平

TEL 086-245-1112

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年6月期第2四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第2四半期	27,822	4.4	106	62.3	90	—	35	—
21年6月期第2四半期	26,647	—	65	—	8	—	△33	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第2四半期	6.26	—
21年6月期第2四半期	△5.98	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第2四半期	20,111	1,610	8.0	287.10
21年6月期	18,494	1,600	8.7	285.23

(参考) 自己資本 22年6月期第2四半期 1,610百万円 21年6月期 1,600百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年6月期	—	0.00	—	—	—
22年6月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,838	5.2	453	40.4	410	64.0	186	—	33.27

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ(定性的情報・財務諸表等)4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年6月期第2四半期 6,250,000株 21年6月期 6,250,000株

② 期末自己株式数 22年6月期第2四半期 638,980株 21年6月期 638,980株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年6月期第2四半期 5,611,020株 21年6月期第2四半期 5,611,020株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、4ページ(定性的情報・財務諸表等)3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

〈医療器材事業〉

手術関連消耗品は、急性期大病院での営業活動強化と新地域への積極的な展開により、前年同期比105.4%と売上高は順調に増加しました。

整形外科関連商品は、シェアの高さから中・四国地域で売上高が伸び悩みましたが、近畿（大阪・奈良）での新規顧客開拓の成果及び平成21年9月に新たにグループ入りした株式会社オオタメディカル（北海道帯広市）の業績加算により、前年同期比104.9%となりました。

循環器関連商品は、不整脈関連分野の売上減少に加え、前年同期に大型機器特需があったことなどの影響を新製品の拡販によってカバーするにとどまり、売上高は前年同期比100.3%となりました。

利益面では、販売価格に対する交渉は引き続き厳しい状況が続いていることに加え、販売商品構成の変化から、売上総利益が低下しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高235億15百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益1億13百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

〈ライフサイエンス事業〉

補正予算の執行や、前期（平成20年11月）に開設した広島営業所の売上が半期を通じて寄与し、基礎研究分野の売上高が大きく増加しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高21億56百万円（前年同期比22.6%増）、営業損失6百万円（前年同期営業損失18百万円）となりました。

〈SPD事業〉

昨年、業務提携先で4施設が運用を開始したため、導入支援料、管理料等の収入が増加しました。それに加え、購買政策の成果もあり、売上総利益率が改善しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高31億54百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益34百万円（前年同期比335.0%増）となりました。

〈その他事業〉

在宅ベッドの新規レンタル契約が順調に増加しました。それに伴い、保有しているベッドの稼働率が上がり、売上総利益率も向上しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高2億94百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益23百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は278億22百万円（前年同期比4.4%増）、経常利益は90百万円（前年同期経常利益8百万円）、四半期純利益は35百万円（前年同期四半期純損失33百万円）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は201億11百万円となり、前連結会計年度末と比べ16億17百万円の増加となりました。主な要因は、株式会社オオタメディカルが新たに連結子会社となったことにより8億90百万円増加しております。また、株式会社オオタメディカルの子会社化による影響を除いた部分で、現金及び預金が2億65百万円、受取手形及び売掛金が2億33百万円、商品が2億27百万円それぞれ増加したことによるものであります。

また、負債は185億1百万円となり、前連結会計年度末と比べ16億6百万円の増加となりました。主な要因は、株式会社オオタメディカルが新たに連結子会社となったことにより7億62百万円増加しております。また、株式会社オオタメディカルの子会社化による影響を除いた部分で、短期借入金が10億82百万円増加した一方で、未払法人税等が99百万円減少したことによるものであります。

純資産は16億10百万円となり、前連結会計年度末と比べ、10百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益により35百万円、その他有価証券評価差額金により31百万円それぞれ増加した一方、配当金により56百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、0.7ポイント減少し、8.0%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は前連結会計年度末に比べ4億41百万円増加し、28億50百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、4億46百万円となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益を91百万円、減価償却費を1億15百万円計上した一方で、たな卸資産の増加により2億43百万円、売上債権の増加により2億14百万円、法人税等の支払いにより1億57百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、87百万円となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得により84百万円減少したことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、9億75百万円となりました。

主な要因は、短期借入金が11億9百万円増加した一方で、長期借入金が64百万円、配当金の支払いにより56百万円それぞれ減少したことによるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成21年8月12日に公表いたしました平成22年6月期の連結業績予想のうち、第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しております。その内容につきましては、平成22年1月22日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、現時点での変更はございません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき、作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行なう方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、及び、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,099,374	2,527,598
受取手形及び売掛金	10,032,763	9,476,369
商品	2,972,496	2,698,800
その他	487,161	553,490
流動資産合計	16,591,796	15,256,259
固定資産		
有形固定資産	2,310,033	2,178,714
無形固定資産		
のれん	276,433	236,909
その他	134,108	154,356
無形固定資産合計	410,542	391,265
投資その他の資産	799,571	668,311
固定資産合計	3,520,147	3,238,290
資産合計	20,111,943	18,494,549
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,076,452	12,779,465
短期借入金	3,841,230	2,335,000
未払法人税等	36,336	136,182
その他	489,368	695,381
流動負債合計	17,443,387	15,946,030
固定負債		
長期借入金	379,999	310,000
退職給付引当金	106,904	99,453
役員退職慰労引当金	492,461	470,496
その他	78,265	68,153
固定負債合計	1,057,630	948,103
負債合計	18,501,018	16,894,133

（単位：千円）

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,750
利益剰余金	1,423,521	1,444,493
自己株式	△833,984	△833,984
株主資本合計	1,541,036	1,562,008
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	69,888	38,407
評価・換算差額等合計	69,888	38,407
純資産合計	1,610,925	1,600,416
負債純資産合計	20,111,943	18,494,549

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)
売上高	26,647,366	27,822,049
売上原価	23,680,344	24,883,962
売上総利益	2,967,022	2,938,086
販売費及び一般管理費	2,901,292	2,831,433
営業利益	65,729	106,653
営業外収益		
受取利息	1,844	1,293
受取配当金	2,246	1,562
持分法による投資利益	402	606
その他	6,142	8,355
営業外収益合計	10,636	11,817
営業外費用		
支払利息	35,631	26,564
保険解約損	31,871	—
その他	707	914
営業外費用合計	68,210	27,479
経常利益	8,155	90,991
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,360
特別利益合計	—	1,360
特別損失		
有形固定資産除却損	4,904	1,183
特別損失合計	4,904	1,183
税金等調整前四半期純利益	3,251	91,169
法人税、住民税及び事業税	13,870	47,780
法人税等調整額	22,912	8,250
法人税等合計	36,782	56,031
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,531	35,137



(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,251	91,169
減価償却費	98,290	115,404
のれん償却額	41,225	18,868
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,320	2,104
受取利息及び受取配当金	△4,091	△2,856
支払利息	35,631	26,564
持分法による投資損益 (△は益)	△402	△606
有形固定資産除却損	4,904	1,183
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,360
売上債権の増減額 (△は増加)	△837,261	△214,727
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△531,748	△243,409
仕入債務の増減額 (△は減少)	724,792	77,474
その他	56,433	△177,138
小計	△412,296	△307,329
利息及び配当金の受取額	3,973	2,739
利息の支払額	△32,448	△22,480
法人税等の支払額	△231,367	△157,007
法人税等の還付額	30,020	37,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	△642,118	△446,393
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	36,900
定期預金の預入による支出	—	△12,590
有形固定資産の取得による支出	△61,610	△84,803
無形固定資産の取得による支出	△18,688	△18,500
投資有価証券の取得による支出	△1,797	△1,801
投資有価証券の売却による収入	15,653	4,475
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△11,271
その他	△680	461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,123	△87,130
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	26,810,000	28,492,000
短期借入金の返済による支出	△25,710,000	△27,383,000
長期借入れによる収入	—	160,000
長期借入金の返済による支出	△192,500	△224,095
配当金の支払額	△55,973	△56,032
その他	—	△13,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	851,526	975,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	142,283	441,777

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	2,183,645	2,408,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,325,928	2,850,144

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日)

	医療器材 事業 (千円)	ライフサイ エンス事業 (千円)	S P D事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	21,610,659	1,757,193	3,000,279	279,234	26,647,366	—	26,647,366
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,070,834	2,580	55,477	57	1,128,950	(1,128,950)	—
計	22,681,493	1,759,774	3,055,756	279,291	27,776,316	(1,128,950)	26,647,366
営業利益 又は営業損失(△)	159,300	△18,209	7,921	21,182	170,194	(104,464)	65,729

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な内容

- (1) 医療器材事業……………医療器材販売
- (2) ライフサイエンス事業…試薬・検査薬及び理化学・分析機器の販売
- (3) S P D事業……………物品・情報管理及び購買管理業務
- (4) その他事業……………在宅介護用ベッド・用品の販売・レンタル

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)

	医療器材 事業 (千円)	ライフサイ エンス事業 (千円)	S P D事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	22,320,024	2,113,510	3,094,510	294,004	27,822,049	—	27,822,049
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,195,047	43,368	60,303	105	1,298,824	(1,298,824)	—
計	23,515,072	2,156,878	3,154,813	294,110	29,120,874	(1,298,824)	27,822,049
営業利益 又は営業損失(△)	113,437	△6,384	34,456	23,343	164,853	(58,199)	106,653

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な内容

- (1) 医療器材事業……………医療器材販売
- (2) ライフサイエンス事業…試薬・検査薬及び理化学・分析機器の販売
- (3) S P D事業……………物品・情報管理及び購買管理業務
- (4) その他事業……………在宅介護用ベッド・用品の販売・レンタル

(所在地別セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

（海外売上高）

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。